

2023 年 1 月更新

ランバーSTN の塗布方法の違いによるテスト結果

- ・ 木材の種類、乾燥程度（含水率の低い木材や中程度の木材）、
表面状態（平滑な木材や粗い木材）の異なる各種の試験木材に塗布し、
1 年間の屋外暴露後の結果を観た

- ・ 標準塗装方法である下記 3 を 1 0 0 点と仮定し点数をつけた。
試験木材片によって多少違う結果がでたので総合して点数をつけた。

- ① ランバーSTN 1 回塗布：テスト木材によっては塗膜の大部分が剥離した
塗布なしとあまり変わらない物もあった
剥離部分は黒くなる 5 点
- ② ランバーSTN 2 回塗布：所々に数ヶ所小さい剥離と角部分の剥離あり
今後剥離が大きくなると思われる 6 0 点
- ③ ランバーSTN 3 回塗布：角面や凹凸面の剥離が少しでる場合がある 1 0 0 点

木材の種類を新たに追加しテストを継続している

- ・ 同種類の木材でも乾燥状態や木材 1 つ 1 つに違いがあるので耐久性に違いがでてくる
上記の点数は各種塗布木材をテストし総合的に判断したものであります
- ・ 1 回塗布では良くない理由は塗膜が薄いので強度が低く木材が動いた時、
塗膜に亀裂が入りそれが広がってしまう為、塗布回数が増えるほど塗膜は厚くなり、耐久性は上がる。
紫外線防止効果も塗膜が厚いほど効果がある
- ・ 角面は薄くなりがちなのでさらに 1 回塗布するなど注意して塗る
- ・ 塗膜の厚さを確保し耐久性を上げる為 3 回塗布する必要がある
- ・ 塗布木材が地面に対し立て方向（直角）にある場合、平行にある場合より耐久性は倍以上となる
- ・ ランバーSTN の原料の樹脂はスレート板やアルミに塗布して、ウェザーメーターテスト機（カーボン
かアークランプにより紫外線とほぼ同様の成分を出しながら照射し又定期的に水をかける装置）で
促進テストを行った結果、1 5 0 0 時間かけても変化は無い。
これは 5 ～ 6 年相当にあたる。しかし木材に塗布した場合は違ってくる。
- ・ 長時間の雨で湿度が上がり、霧が発生した場合、塗膜が雨より小さい粒子の蒸気を吸収し光の乱反射で塗
膜が白く見えることがあるが、塗膜は呼吸するので水分が抜けると元の透明となる。塗膜の性能は全く変わ
らない。